

# 選ぶ時代

—自分らしい生き方・死・葬送—

終活の中で、最も難しい課題は「死の受容」ではないでしょうか。特に一人称の死(自分の死)は誰も経験した人がいないだけに、この未知の世界に畏怖の念を抱いている人は多いことでしょう。死に向かうための哲学および宗教観をもてるか否か、私が日ごろ終活講座で話しているスピリチュアルケアという概念を使って説明してみたいと思います。

まず日本人が死後の世界をどう捉えてきたか、伝統的な先祖祭祀がスピリチュアルケアの要素を内包していたことを確認し、そして現代社会のスピリチュアルケアとして樹木葬墓地「桜葬」の試みを取り上げながら、死ぬその瞬間まで輝いて生きる、そんな提案をしたいと思います。また、個人化している社会の中で「一人暮らしで、葬儀の担い手がない」といった「おひとりさま」の死後の葬儀や事務処理をどう託すかについて、私がこの目で確かめ、集めた情報や経験を、具体例をあげて紹介するとともに、研究者の立場からも現代社会の死と葬送を読み解いてみたいと思います。

## 井上 治代

いのうえ はるよ

### <プロフィール>

社会学博士。認定NPO法人エンディングセンター理事長、エンディングデザイン研究所代表、東洋大学東洋学研究所客員研究員。大学で「生死の社会学」「いのちの教育」「ジェンダー論」などを教えつつ、もの書きとして執筆・評論活動を続け、尊厳ある死と葬送をめざした市民団体に活動する。

自著に『最期まで自分らしく』『墓をめぐる家族論』『新・遺言ノート』『墓と家族の変容』『子の世話にならずに死にたい』『より良く死ぬ日のために』他多数。



日時／平成28年 **7月3日**(日)

14:00~15:30 (開場/13:30)

場所／**千葉市文化センター3階 アートホール**

JR千葉駅より徒歩10分

京成千葉駅より徒歩10分

千葉都市モノレール霞川公園駅より徒歩5分

電話/043-224-8211

定員/500名(応募者多数の場合抽選となります。)

後援/千葉市

### <お申込み方法>

はがきに住所・氏名・電話番号・参加希望人数

**(1枚で2名まで申込み可)**を明記して、郵送してください。(5月31日(火)必着)受付後、入場券を発送いたします。(入場無料)

### 申込み・問合せ先

淑徳大学社会福祉研究所/総合福祉研究室

〒260-8701 千葉市中央区大蔵寺町200

電話/043-265-7377(直通)

火・木・金曜 9:00~17:00

